

産業カウンセラー学科試験 確認テスト(3) 問題(解答) ～1月5日実施～

1. カウンセリングの諸理論 (※語群は過去に出題されたキーワード!)

- ① 論理療法→ エリス ●● 非合理的信念、論駁、行動指示技法、ラショナルビリーフ、REBT
- ② 実存分析→ フランクル ●● 実存哲学、ロゴセラピー
- ③ 交流分析→ バーン ●● ストローク、ディスカウント、脚本、相補的交流、構造分析、ゲーム
- ④ 来談者中心療法→ ロジャーズ ●● 共感的理解、共感、ストランズ、現象学、自己概念、非指示的、実現傾向
- ⑤ 行動療法→ ウォルピ ●● 逆制止療法、シェーピング、学習、強化、対症療法
- ⑥ ゲシュタルト療法→ パールズ ●● エンプティチェア、図と地の反転、まとまりのある構造
- ⑦ 現実療法→ グラッサー ●● 3つのR
- ⑧ 森田療法→ 森田正馬 ●● 精神交互作用
- ⑨ 短期療法→ ド・シェイザー・バーグ ●● 解決志向アプローチ
- ⑩ 家族療法→ 人名なし 一般システム論

2. 産業カウンセリングの源流 ※3つ運動名と人名は確実に覚える!

- (1) 職業指導運動→ パーソンズ
- (2) 教育測定運動→ ソーンダイク
- (3) 精神衛生運動→ ビアーズ

3. 産業カウンセリングの活動領域

- (1)メンタルヘルス対策                      (2)キャリア開発                      (3)職場の人間関係開発

4. パーソナリティ特性論 ※テキストP153 ※図解ポイント人名編P3

人名：オールポート

- ①自我の拡張 ②他人に対する温かい関係 ③情緒の安定 ④現実認知と技能 ⑤自己客観化  
⑥人生観の確立

5. 防衛機制 ※学科2でも注意! 逐語で該当する防衛機制を問われる問題の出題も。

- ① 逃避 ② 抑圧 ③ 合理化 ④ 昇華 ⑤ 逆転移

6. 心理テスト ※テストの数字に注意! 図解ポイント集で確認を。

(1) 質問紙法

YG (矢田部・ギルフォード) 法性格検査・CMI (コーネル・メソッド・インテックス)・VPI (職業興味検査)  
GHQ (日本版GHQ精神健康調査票) ・SDS (うつ性自己評価尺度)・EPPS 性格検査  
MMP I (ミネソタ多面人格目録) ・TEG (エゴグラム)

(2) 投影法

SCT (文章完成法テスト)・PFスタディ (絵画—欲求不満検査)・TAT (絵画—主題統覚検査)  
ロールシャッハテスト・バウムテスト

(3) 作業検査法

内田クレペリン検査・一般職業適性検査 (GATB)

(4) VPI 職業興味検査 ※ホランドと合わせてしっかり覚えましょう!

(5) MMPI (ミネソタ多面人格目録)

## 7. コミュニケーション

正しい記述・・・(1)、(2)、(5)、(6) ※静的・可逆的では無いことに注意！

## 8. メンタルヘルスの4つのケア

- ① セルフケア ② ラインによるケア ③ 事業場内産業保健スタッフによるケア
- ④ 事業場外資源によるケア

## 9. 精神医学の基本

### (1) 総合失調症

病識欠如・妄想・社会的ひきこもり・幻覚・興奮・陽性症状・陰性症状

### (2) パニック障害等

抗うつ・抗躁薬・炭酸リチウム・中毒症状

### (3) 強迫神経症

強迫症状・不潔恐怖

## 10. 精神科医療施設への入院制度

緊急措置入院